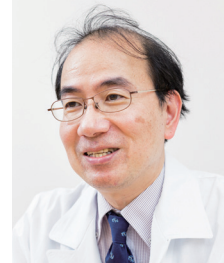


糖尿病・内分泌内科

担当医師



川角正彦

日本糖尿病療養指導士とは

日本糖尿病療養指導士とは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を指導する医療スタッフです。この資格は、一定の経験を有し試験に合格した看護師、管理栄養士などに与えられ、認定されることは、糖尿病の臨床における生活指導のエキスパートであることを意味します。当院では10名が資格を得て活動しています（2023年現在）。

糖尿病の慢性合併症

糖尿病には、目、腎臓、神経、心血管などの血管が傷み、合併症を起こします。わが国では毎年1万5千人もの人が糖尿病が原因で腎不全となり透析療法を導入されています。

糖尿病透析予防指導

糖尿病による腎臓悪化を防ぐには、血糖値、血圧、体重コントロール、禁煙などが必要であり、多職種によるチーム医療が有効です。当院では、腎臓悪化の恐れがある患者さんを対象に、医師と療養指導士資格をもつ看護師、栄養士からなるチームでの個別指導を行っています。



受診希望の方は紹介状をご用意の上、予約センター（03-5923-3240）までお電話ください。

